

## 市町村職員等鳥獣被害対策担当者研修会【第1回：イノシシ・シカ編】

- 1 日時 令和元年7月22日（月）午前10時から午後4時まで
- 2 会場 茨城県農業総合センター 2階 大研修室
- 3 参加者 37名（市町村職員，関係機関（JA等）職員，県職員など）
- 4 内容

午前にはイノシシ・シカの生態や生息状況，効果的な農作物被害防止対策について，座学研修を実施しました。午後の現地実習では，講師指導の下，受講者が実際に電気柵やくくりわなの設置を行いました。

イノシシ・シカの生態や対策など基本的な知識から，実際の対策現場で必要な技術を学ぶことができる研修会となりました。



座学研修の様子①



座学研修の様子②



捕獲わなを用いた捕獲実習の様子



電気柵設置実習の様子

### 受講生の声（抜粋）

- ・農家から鳥獣害について質問を受けることが多かったので，今回，イノシシやシカの生態，対処の方法等について大変参考になった。
- ・普段，水田に設置してある防護柵が適切に設置・管理されているか思い返してみると，わりと“俺流”の設置の仕方に満足し，地元が「電気柵に効果がない，ダメだ」と諦めている農家が多いように感じました。
- ・非常に実践的で勉強になりました。危機感を持って対策に取り組みたいと思います。

### 講師からのコメント

鳥獣被害対策は，正しい知識をもとに対策を行うことが重要です。また，電気柵，わなを設置したから終わり，ではなくあくまでスタート。そのあとの下草刈りなど適切な管理が重要です。